

2010年（平成22年）11月26日（金） NO 32号

K-PUROニュース







【事業所】

■社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
■屋号	都市防犯プランニング社	e-mail info@k-puro.co.jp
■本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
■千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】

■機械警備事業	SECOM・ALSOKを使用した弊社独自のセキュリティプランニング
■防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
■総合メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 設置に至るまで全てのメンテナンス業務の取扱い

【加盟所属団体】

	(RI2770) 川口モーニングロータリークラブ	http://blog.goo.ne.jp/morning_2770
	(NPO 法人) さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
	(社団法人) 千葉東法人会青年部	http://www.chibahojin.jp/
	(社団法人) 倫理研究所千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
	(内閣府認証 NPO 法人) 日本危機管理学総研	http://www.kikikanri.jp/gathering.html/
	(公益財団法人) モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【協賛応援団体】

	(財団法人) アイメイト(盲導犬育成)協会	http://www.eyemate.org/
	はやてレスリングプロダクション DREAMERS	http://blog.livedoor.jp/wdream1/
	2010年(平成22年)12月18日(土) WRESTLING DREAMERS GP2010 決勝・サスケ参戦	
	新木場1st RING 開場 18:00 試合開始 19:00	VOLVO 東邦オート様 CM ビデオ上映!



ご挨拶

今月23日は勤労感謝の日です。
 祝日法では、『勤労を尊び、生産を祝い、国民互いに感謝しあう』と定められています。
 戦前は新嘗祭(にいなめさい)と言い、国家の重要な行事であり「瑞穂の国」の祭祀を司る最高責任者である天皇が国民を代表して、農作物の恵みに感謝する式典でした。
 「新嘗」とはその年収穫された新しい穀物のことをいいます。
 さて、あまり知られていませんが、この日が1年を通じて初めて天皇が新米を食べる日なのです。これは、「もう日本全国の国民全てが新米を食べることが出来ただろう」という天皇陛下の国民を慮った所作を表しています。
 国民全員が新米を食べるまで自身は決して食さないという天皇陛下が心から日本国民を大切になさっていることが分かります。
 このような素晴らしい行動を封印されたまま、真実を知らないままの現在の日本国民。
 尖閣諸島の問題然り、何が正しいのか、本当はどうなのかを日本国民が正確な事実を知るべく時期に来ていると思います。

代表取締役 木戸 良樹

サンヨー食品株式会社 相談役 井田 信夫 様



さいたま起業家協議会のオープン起業塾にあの『サッポロ一番』や『カップスター』で有名なサンヨー食品井田相談役に講師としてお出でいただきました。

(写真右から建築士の静谷さん、井田相談役、社労士の山口さん)

酒屋を営む父親、実兄と共に群馬県で創業したサンヨー食品。兄は製造を、本人は営業を担当され日本のインスタントラーメンの礎を築きあげられました。人は皆、ダイヤモンドの原石を持っており、それを磨き上げるのは自分自身と言われます。

また、そのためには1%のひらめきと99%の努力が必要不可欠であるとおっしゃっています。1%のひらめきが出たならばすぐに行動すること…。ここに成功するか非凡で終わるかの境があるとおっしゃいます。

サンヨー食品は、即席ラーメン業界では当時後発であり、ピョピョラーメンや長崎チャンポンで爆発的な売れ行きを誇るようになりましたが、井田相談役が地方のお客様から聞いた『もっとあっさりしたラーメンはないものか』という言葉にひらめき、サッポロ一番塩ラーメンの発売に至ります。

(このお客様の声こそがマーケティング活動だとおっしゃっています。)

当時(今もそう)の即席メンは醤油味が主流で75%を占めています。醤油味では日清食品に勝てないので、ニッチの部門である塩ラーメンに力を入れシェアを拡大して行きます。その後、他では真似のできないサッポロ一番味噌ラーメンの発売を重ねシェアを不動のものにして行きます。



井田さんは相当負けん気が強く、当時飛ぶ鳥を落とす勢いであったダイエーから『商品のダンピングを止めて欲しい、周りの商店が潰れてしまう。』という意見をしたところ、即、取引停止を受けてしまいます。しかし、周りの商店にはサッポロ一番をセール品として安く販売させ、結局ダイエー側が折れたそうです。日本全国を飛び回り販売網を開拓された自信からくるお話は、聞く者に勇気と感動を与えるとともに経営のヒントを授けていただきました。

お足が悪い中、懇親会では一度も椅子に座らず、若い私たちの声を真摯に受け止めていただいた心遣い本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今月の良い話 ～東池袋大勝軒～ 初代店主 山岸 一雄氏

昭和36年の創業以来、多くのお客様に愛され、日本で初めて「つけ麺」を販売したことで知られる当店は、平成19年3月20日、最後の営業日を迎えました。閉店を知るや、11時から15時までの営業時間めがけて全国からお客様が殺到し、当日までの数週間は泊まり込みで並ばれる方もいたほどです。

閉店当日、ヘリコプター3機を含むマスコミが取材に殺到し、店先には500人近くのお客様が長蛇の列をつくっています。

その光景を見た私は、何とも言い表せない思いが込み上げてきました。

妻と二人、裸一貫で始めた小さなラーメン屋が、いまやこんなに多くのお客様に愛される店になったのだ。

しかし、それは決して平坦な道のりではありませんでした。

55年に及ぶラーメン人生を振り返ると、二つの大きな試練があったのです。

幼い頃から慕っていた従兄弟に誘われ、ラーメン職人への道を歩み始めたのは17歳の時です。

下積み時代はとにかくがむしゃらに働きました。

休みは1か月に1回、睡眠は平均3時間という生活でしたが、それを辛いと思ったことはありません。
自分にはこの仕事しかないという覚悟を決め、不平不満を言わず、人一倍努力しようと心に秘めて修業に励んできました。
そして修業から10年目の昭和36年、従兄弟の許しを得て27歳で独立。これが東池袋大勝軒の始まりです。

店は日を追うごとに繁盛していきましたが、私には1つの不安がありました。
独立前から感じていた両足の痛みが悪化し、見ると長靴も履けないほどパンパンに腫れ上がっていたのです。
長時間の立ち仕事が原因の静脈瘤でした。
すぐに手術をし、リハビリを開始しましたが、その間3か月の休業を余儀なくされました。これが1つ目の試練です。

病弱な妻は「これからは私が先頭に立ってやるからね」と、麺上げなどの力仕事を引き受けてくれました。
その気丈な姿を見るたびに胸が引き裂かれる思いでしたが、妻とお客様の笑顔を支えに、痛みを耐えて厨房に立ち続けました。
しかし、そんな綱渡りのような生活を奪う、2つ目の試練が訪れました。
妻が末期の胃がんに侵されていたのです。
病名が分かった時点ですでに手遅れでした。「老後は二人で楽しくやろう」を合言葉にここまでやってきたのに、一体どうして……。告知から1か月後、妻を失った私は生きる気力を完全に失いました。

店は、妻の病気が発覚してからずっと休業していました。
7か月がたち、何をしても妻との思い出が甦り、店をたたもうと決意した日のことです。
身辺整理のために店に向くと、「しばらく休みます」とカレンダーの裏に書いた貼り紙に、お客様からの激励のメッセージがびっしりと書き込まれていたのです。数えると39個もありました。
「早く元気になっておいしいラーメンを食べさせてください」「楽しみに待っています」「再開はいつですか」・・・
思い返せば、ラーメンブームに乗って他店が派手な宣伝を始めた時も、私たちはコツコツと味の研究を重ね、口コミで評判を呼んでいきました。
気づかぬうちに、こんなにも多くの方々が私のラーメンを待っていてくれたんだ。
ここでもう一度頑張ってみよう――。
その後、私はこれまで以上にラーメン一本で生きていくことを決意しました。
炒飯などご飯もののメニューをやめ、体調を考慮し営業時間を短縮。店に寝泊まりしてラーメン作りに全精力を注ぎました。短時間で集中的に営業するため、妻の死を機に初めて弟子を受け入れたのもこの頃です。それはいわば53歳からの再出発でした。

ラーメンに限らず、一流の職人は皆、「ものづくりは心が入っていないとだめだ」と口を揃えます。
同じように、私がラーメン作りで最も大切だと思っているのは、素材やお客様への感謝の心です。
これまで弟子たちには、この「心」の大切さについて繰り返し言い聞かせてきました。
その原点となっているのは、幼い頃に国民学校で受けた「修身」教育です。
そこでは周囲の環境に感謝し、礼儀を重んじること。
そして年長者を敬い、人の見ていない所でも手を抜かず、どんな時も努力を積み重ねることの大切さを学びました。
ラーメン作りにおいて、今日までその姿勢を貫いてきたことが、大勝軒がお客様に飽きられず、行列の絶えない店であり続けられた理由かもしれません。



一度は閉めた当店も、再開を望む多くのご要望が寄せられ、昨年リニューアルオープンを迎えることができました。店は弟子に任せていますが、74歳のいまでも毎朝スープの味を確認し店先に座ってお客様をお出迎えています。現在、全国に130人を超える弟子たちが活躍していますが、彼らが独立する時、私はよく
「人生の試練に打ち勝て」と色紙に書いて贈ります。

開業後、遅かれ早かれぶつかる様々な試練を乗り越えるためには、困難に打ち勝つ心が必要です。
我が子のような弟子たちには、仕事を通じてどんな試練にも負けない強い心を養ってほしい。
そう願ってやみません。

【記事提供 到知出版社】

今月の日本語講座

～暴力装置～

仙石内閣官房長官の国会答弁において『暴力装置でもある自衛隊』という発言について物議を呼んでいます。

私も TV で観ていてびっくりしましたが、改めて調べてみると下記の通りであり、専門的な表現方法としては間違っていないようです。

暴力に実質的に対抗できるのは同等の暴力だけである。

つまり、暴力を統制するためにはより強力な暴力、すなわち組織化された暴力が社会の中で準備されなければならない。

軍隊、警察がこれにあたり、社会学者のマックス・ウェーバーはこれらを**暴力装置**(organizations for violence)と位置付けた。

安保闘争以降の日本で「暴力装置」という表現が左翼の活動家などから自衛隊や警察を揶揄・誹謗するレーニ的な意図に近い意味で使われてきたとの批判がある。

しかし「暴力装置」という言葉は政治学や社会学の専門用語としても一般的に使われる。

(Wikipedia 引用)

事件ファイル

振り込め詐欺防止ポスター



依然として増加する振り込め詐欺！

埼玉県警では20日、詩人の柴田トヨさん(99)を起用したポスターを発表。犯人に対して『さん』をつける心の温かさが今話題を呼んでいます。

振り込め詐欺犯さんに

柴田トヨ

今 あなたのしている事を知ったら
家族はどう思うかしら
子供の頃 あなたには やさしい心があった筈
風の囁きも 聞こえた筈よ
弱い人たちを 苦しめないで
その知恵を 良い事に使ってください

プロ太の小話集

NO 32

文化大臣をバカ呼ばわりしたロシアの男が法廷で20年の刑を宣告された。

5年は屈辱罪で、あとの15年は国家の秘密を漏らした守秘義務違反であった。



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

今月は、たまたまラーメン特集になってしまいました。

色々な困難にもめげず、何事もわき目も振らず一心に仕事に励む姿勢は成功に繋がると両氏は訴えています。

また、お客様を始めとしたステークホルダーを大切にする気持ち、利己に走らず道徳的考えを芯に持ち続け、利他のために励む者は必ず成功すると教えてくれています。

注：プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)